



学校便り
No. 17

※番号は昨年度から継続

夢・挑戦

令和2年12月4日

水俣市立水俣第二中学校

校長 高橋 裕二

手洗い、正しくマスクを着用、3密を避ける!!

11月25日に、水俣市総合医療センターの感染管理認定看護師の村嶋様に、集団宿泊訓練前の1年生と修学旅行前の2年生を対象に、新型コロナウイルス感染症感染防止のために講話をして頂きました。

ウイルスは、目や鼻、口の粘膜から入って感染するため、これまで皆さんが取り組んできた手洗いやマスク着用、3密を避けることの徹底が有効であることを、改めて確認することができました。「手洗いは石鹸で15秒以上すること」「手洗いよりアルコール消毒の方がさらに効果が高いこと」「布マスクよりサージカルマスクや不織布マスクがより効果が高いこと」「マスクは鼻の針金をしっかり押さえ、あごの下まで覆うこと」など、教えて頂きました。正しい知識をもたずに過剰反応するのではなく、「正しく恐れることが大切である」という言葉が心に残りました。



【1年集団宿泊訓練】

なお、新型コロナウイルス感染症に関する心無い言動（憶測、噂話）、そして差別や偏見が社会問題になっています。感染した方やそのご家族、感染した方々の治療に当たる医療従事者などに対する差別や偏見は、絶対に許されるものではありません。自分をはじめ、誰でも、いつでも、感染する可能性があります。「もし自分だったら」「もし自分の家族だったら」と、自分のことに置き換えて考えることが、差別や偏見の未然防止になります。

感染が拡大している地域でも、学校に通学する小中高生、仕事に従事する労働者、地域で過ごす幼児や高齢者など、毎日、当たり前の日常生活があり、そこで生活している人たちがいることを忘れてはなりません。

進路決定は、自分の生き方を決めてから!!

3年生は、現在三者面談の最中です。これまでは住んでいる地域で、通学する学校が決まっていますが、初めて自分で学校を決めなければなりません。

さて、人生には、「自分の意志で決定しなければならないことが3回ある」という言葉を知りました。1つ目が中学卒業後の進路です。普通科、工業系、農林水産、商業、医療福祉など、どこを選択するかで、自分の将来を大きく左右します。ちなみに2つ目が就職、3つ目がパートナー選びになります。

意思決定をする時には、自分を支えてくれた家族の思いや、関わってくださった先生方のアドバイスに、耳を傾けてほしいと思います。そして、「自分はどのような人生を送りたいのか」をしっかりと考え、最終的には自分自身で意思決定をしなければなりません。以前も書きましたが、「いつ、どこで学んだ」より「何を、どれだけ学んだ」が大切
【県駅伝健闘!!27校中14位】



水俣三中で私に野球を教えていただき、八代一中や代陽小の校長をされた木本一幸先生（72歳）が、先日、二中に来られました。地域の皆様の中にも、教え子の方がおられることと思います。私は小学6年の時、甲子園常連校の熊本工業高校へ進学、そしてプロ野球選手になるのを夢見て、水俣三中に入学しました。残念ながら、入学後1週間で、プロ野球選手への夢は終わりました。当時、身長は前から2番目で、野球部の先輩の大きな体、打球の飛距離、足の速さなどを見て、プロ野球選手は無理なことに気づきました。「井の中の蛙大海を知らず」でした。その後、木本先生に憧れ、体育教師を目指し現在に至っています。当日、木本先生の教育実践の冊子をいただき、「人生はどんな人物に出会い、どんな言葉に出会ったかで決まる」「人は人によって人になる」「子どものカバンの中には教科書やノートの他に、重いものを背負って登校する子どももいる」を見つけ、教育の重責とともに使命感も感じました。